

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.13】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、4人家族のモニターです。

電気生ごみ処理機に対する印象や考え方について質問したところ、三角コーナーにゴミを溜め、ゴミ袋に入れる前に処理機に入れるだけなので特に手間は掛からず、稼働しただけ電気代は掛かるが、それを上回る効果が得られていると感じているそうです。また、電気代の上昇についてはひと月あたり400円前後だそうです。

野菜・果物中心の生ごみとその他の生ごみをそれぞれ分けて処理してみたところ、野菜・果物中心の生ごみは乾燥後の臭いはほぼ無臭で、処理機内の汚れもほとんど無かったが、その他の生ごみは臭いや処理機内の汚れが目立ち、掃除が大変だったことから、色味や臭いの強い生ごみは、一度洗ってから処理する必要があると感じているそうです。

暑い日が続いた時期は、生ごみの腐食も早く、臭いが発生する前に処理する必要があることから、使用頻度が増えたそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp